

## 神戸空港整備事業及びレビュー報告書の概要について

### 1. 神戸空港整備事業の概要

- 空港の種類：第3種空港（地方公共団体が設置し、管理する空港）
- 設置管理者：神戸市
- 位置：ポートアイランド（第1期）南約3km（三宮から約8km）
- 空港島の面積：272ha
- 滑走路：2,500m 1本

### 2. 工事の進捗状況

- 平成11年9月：空港島の埋立て着工（汚濁防止膜の展張）
- 平成13年10月：空港島の外周護岸概成、埋立工事開始
- 平成17年度に開港の予定。

### 3. レビューの経緯

- 平成11年6月：公有水面埋立免許の認可に際し、運輸大臣に環境庁長官意見を提出

#### レビューに係る長官意見部分

工事中及び埋立地供用後における海域環境監視を計画的に実施し、工事途中段階及び埋立地供用後に環境監視結果を勘案の上、今回実施された環境影響評価の予測結果についてレビューを行い、その結果を踏まえ埋立工事の工程等の変更を含め環境保全上必要な措置を講じること。

- 平成11年10月：環境監視を開始
- 平成16年5月18日：レビュー報告書を環境省に提出

### 4. レビュー報告書の概要

- 埋立工事開始から空港島の護岸が概成後の平成15年3月までの当該埋立事業が環境へ与える影響を把握・検討し、評価することを目的にしている。
- 大気質、水質（水の濁り）、騒音の環境監視結果に基づいて、工事による影響を分析。
- 水質（一般項目）、潮流等の環境監視結果に基づいて、工事着工前後の変化を分析。
- 結論：空港島埋立事業が環境へ与える影響は予測の範囲内であり、環境保全目標を満足していると考えられるため、環境影響評価における予測は概ね妥当であり、また、工事中に実施した環境保全措置は有効に機能したものとする。